

平成 27 年 10 月 21 日 (水)

わくわく！さいえんす café 実施報告

東北大学応用物理学会スチューデントチャプター

文責：菅原 健太 (Sugawara Kenta)

東北大学 工学研究科 博士前期課程 2年

k-suga@riec.tohoku.ac.jp

1 わくわく！さいえんす café 開催にあたって

平成 27 年 10 月 10~11 (土,日)に私達東北大学応用物理学会スチューデントチャプター (以後 東北大 SC) において小中学生を対象とした理科体験イベント「わくわく！さいえんす café」を実施しました。

普段は子供たちの触れることのない液体窒素や世界最強のネオジム磁石を用いた理科実験を体験してもらうことで、参加した子供たちに科学の興味を持ってもらうことを目的として活動しました。より多くの方に楽しんでいただき、かつ東北大 SC の活動についても知ってもらうため東北大学の附属研究所一般等公開 (片平まつり 2015) における 1 ブースとして開催しました。

2 実施概要

日程：平成 27 年 10 月 10~11 (土,日) 各日 10:00~17:00

会場：東北大学片平キャンパス (宮城県仙台市青葉区片平 2-1-1)

電気通信研究所 本館 1 階談話ロビー

東北大学片平まつり 2015 電気通信研究所 (通研) 公開ブースにて開催

実施内容：1. ネオジム磁石を用いた物理実験 (ガウス加速器 等)

2. 液体窒素を用いた低温の実験や超電導の実演

3. 来場者向けカフェスペースの開設、飲料・お茶菓子の提供

東北大 SC 参加学生： 26 名 (内当日参加者 23 名)

来場者数：本イベント・・・ (少なく見積もって) 500 名 (2 日間)

(併催の通研公開は約 2700 名, 片平まつりは約 15,000 名 (2 日間) でした。)

3 当日の反響

さいえんす café 実施当日は始終多くの方に来場いただき、大盛況となりました。当日の一部始終を以下の写真にてご報告します。

尚、こちらの内容は東北大 SC のフェイスブック(<https://www.facebook.com/tohoku.sc>)でも広報しております。



1. 実験ブースの様子。左側に液体窒素の実験ブース、右側にネオジム磁石の実験ブースがあり、どちらも沢山の子どもたちが参加してくれました。



2. 磁石の実験ブース、ガウス加速器実演の様子。磁石の引力により、鉄球がものすごいスピードで発射される様子を体験しています。



3. 液体窒素の実験ブース。身近な物(風船等)を -196°C まで冷やすとどうなるのか、皆真剣に見入っていました。



4. 実験ブースの脇に併設したカフェスペース。保護者の皆さまやご家族の小休憩のスペースとして賑いました。同時に東北大 SC や研究についての紹介も行っています。



5. 磁石の実験ブースにて。磁石で遊びながら微笑む男子。理科に興味をもってもらうことはできたでしょうか？



6. 開催直前のスタッフ学生両日共に 10 名程度の学生が参加し、皆子供たちに理科の楽しさを熱弁してくれました。

4 まとめ

この度のイベントを通して、非常に多くの子供たちに理科への興味・楽しさを体験してもらうことができ、東北大 SC としても保護者の皆様や来場いただいた多くの方々に SC やその活動について知ってもらうことができました。

説明にあたった学生にとっても、好奇心あふれる子供たちと接して共に実験ができたことで今後の学生・研究活動にも繋がる様々な刺激を受けることができました。

最後に、本イベントの開催に当たって様々なご支援をいただきましたことに深く感謝いたします。

5 次回活動予定

12月3,4日に東北大SCのポスター発表会を企画中。

応用物理学会東北支部大会と併催により多くの研究者との交流ができるよう調整中。

付録 参加学生リスト

東北大学学生：26名

学年	氏名
D2	中野貴文
D1	加藤大樹
D1	一之瀬智浩
D3	飯浜賢志
M2	佐々木悠太
B4	堀内伸一
B4	稲葉仁
M2	鈴木理恵
M2	渡辺幸樹
M1	内田翔平
B4	小田原祐人
B4	久保田慎也
B4	小澤龍成
D1	畑田 武宏
M1	住野 義樹
B4	中村 慎一郎
D2	窪内 将隆
M2	久芳 健人
M1	小川 陽平
M2	永井 宏樹
M2	中沢 駿仁
M1	石井 健太郎
M1	濱田 陽記
M2	菅原 健太
M2	長谷川 美佳
M1	大美賀 圭一